

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 システム工学科		
担当教官名	柏原 昭博		
居室	西2-119		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kasihara@ice.uec.ac.jp	<a href="http://www.ied.ice.uec.ac.jp/passwd/CL/C2/index.php">http://www.ied.ice.uec.ac.jp/passwd/CL/C2/index.php</a>

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>(a) 主題： 問題解決型学習(PBL: Problem-Based Learning)の考え方を踏まえて、具体的な課題を解決することを目標に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーティングシステムUNIXの基本事項</li> <li>・アプリケーションソフトウェアの使い方</li> <li>・情報モラル・セキュリティ</li> </ul> <p>の3つの基本事項について学習する。</p> <p>(b) 達成目標：</p> <p>1. Webに用意された自習用教材や参考書やWeb等を活用して、以下の3つを基本事項を身につけること。</p> <p>(a) コンピュータシステムやオペレーティングシステムUNIXの基本事項を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ファイルシステムによる情報の蓄積・管理</li> <li>- 電子メール</li> <li>- コンピュータネットワークによる情報の送受信</li> </ul> <p>(b) 以下のアプリケーションソフトウェアの基本的な使い方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 文書編集 emacs</li> <li>- 電子メール mew</li> <li>- Webページ作成 HTML</li> <li>- 文書清書 Tex</li> </ul> <p>(c) 情報モラル・セキュリティに関する基本的知識を習得する。</p> <p>2. 基本事項の学習を活かして、グループ作業を通しての問題解決型学習ができるようになること。</p> <p>3. 問題解決で得られた成果物を学生同士で相互に評価することで、問題解決過程を見直すことができる</p>
---

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

ようになること。

### 【前もって履修しておくべき科目】

なし

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし

### 【教科書等】

#### 参考書：

渡達成良・若月光夫・織田健 / 共著

「UNIX コンピュータリテラシー（第2版）」（共立出版）

### 【授業内容とその進め方】

#### (a) 授業内容

この授業では、Webの教材を中心に活用して、コンピュータシステムやオペレーティングシステム UNIXの基本事項、アプリケーションソフトウェアの基本的な使い方、情報モラル・セキュリティに関する基本的知識を習得する。Webの教材構成は、次の通りである。

#### Webの教材構成

- ・本学ネットワーク利用ポリシー
- ・システム利用の基本事項
- ・文書の編集・日本語入力
- ・電子メール
- ・UNIXの基本事項
- ・ファイルシステム
- ・情報倫理
- ・文書の清書
- ・コンピュータネットワーク
- ・Webページの作成

#### (b) 授業の進め方

授業の進め方は、以下の通りである。

1. 授業担当教員から課題（基本事項を学ぶための課題を含む）を提示する。
2. Web上の教材や参考書などを参照しながら、課題を解決する。
3. TAによる質問応答
4. 成果物に対する学生同士の相互評価（Peer Review）

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

なお、課題については、次の通り行う。

- ・14週ある授業のうち、前半の8週は毎週課題を提示する。  
これらの課題は、達成目標1の3つの基本事項に関する課題である。
- ・後半は6週かけて行う問題解決型の課題を提示する。  
この課題は、学生4名程度のグループで行う。  
Unix上のアプリケーションを用いて、問題解決の成果物をホームページとして作成する。

(c) 授業時間外の学習（予習・復習）について

本授業の達成目標に掲げた知識を習得するためには、日頃からシステムを使いことが必須である。そのため、授業の進捗状況に応じて、必ずWeb教材を用いた予習・復習を行うこと。また、課題の解決に際しても、授業時間外にWeb教材を閲覧しながら取り組むこと。

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

なし

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### 評価基準(最低達成基準)

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

1. 漢字仮名混じりのテキスト文の作成，編集ができる。
2. 電子メールの送受信ができる。
3. UNIXの基本コマンドを使用することができる。
4. ファイルシステムを理解している。
5. 以上を組み合わせ、文書作成作業・Webページ作成作業を遂行できる。
6. 計算機の利用におけるモラル，セキュリティー，ネットワーク利用ポリシーの基本事項を理解している。

#### 成績評価方法

- ・前半の8週は，中間にテストを行う。80点満点とする。
- ・後半の課題に対しては，課題に対する取り組みの状況と成果物をPeer Reviewの結果も踏まえて評価する。
- ・60点満点とする。
- ・上記2つの点を合わせた140点満点を100点満点に換算して評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話や電子メールなどで事前にアポイントを取ること。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【学生へのメッセージ】

- ・UNIX を使った経験のある人はほとんどいないので，コンピュータに初めて触れる人も気後れすることなく積極的に学習に取り組んで欲しい．
- ・教材を読むだけでなく，必ずコンピュータを操作し，体験的に学習をすること．
- ・コンピュータの利用は情報通信工学科の学生皆さんには必須である．本講義で学ぶ内容は，今後の教育・研究活動において実質的に役立つ知識ばかりである．しっかりと身につけて欲しい．

### 【その他】

なし